

地域戦略の検証（概要）

1 KPIの進捗状況

| 進 捗 | A | | | | B | 合 計 |
|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|
| | | ① | ② | ③ | | |
| | 3 2 | 1 1 | 4 | 1 7 | 1 8 | 5 0 |

2 各地域における推進状況

| 地域 | 推 進 状 況 |
|----|---|
| 空知 | 新規就農者向け制度や研修会の周知など農業の担い手確保、積極的な移住情報の発信、炭・鉄・港の産業遺産やワインなどの地域資源を活かした観光地づくりなどの取組を進めてきており、新規就農者数や観光入込客数は順調に増加。 |
| 石狩 | 若い世代への結婚・子育てに対する意識醸成、企業における仕事と家庭の両立を支援する環境づくりの促進などの取組を進めてきており、子育てを応援する企業数は目標を達成。首都圏等の大学生を対象に人材還流のモデル事業等を実施し、若者の転出超過は改善傾向。 |
| 後志 | 農業の生産拡大、高収益作物の栽培技術導入促進や販路拡大、ホテルや飲食店と生産者をつなぐ商談会の開催などの取組を進めてきており、特産農産物の生産戸数は着実に増加。食と観光のプロジェクトやスポーツツーリズムによる誘客促進、海外事業者へのPRなどの取組により、観光入込客数は順調に推移。 |
| 胆振 | 胆振四大遺産の魅力発信やプロモーション、民族共生象徴空間開設を控えたアイヌ文化の発信、宮蘭フェリーの利用促進、新鮮・多彩な地元食材や料理の国内外へのPRなどの取組を進めてきており、外国人観光客は目標まで開きはあるものの増加傾向、観光入込客数も策定時の実績を上回って推移。 |
| 日高 | 各町の新規就農者対策への支援、受入に関する意見交換会、都市圏からの移住・定住に向けた情報発信、PRなどの取組を進めてきており、新規就農者数は早期に目標を達成。首都圏等での観光PRや特産品の販路拡大、ジオパークの魅力紹介や日高道延伸を契機とした周遊促進の取組により、観光入込客数は増加。 |
| 渡島 | 新幹線開業効果の最大化に向けた広域周遊ルートづくりや縄文の魅力発信、地域産品の付加価値向上、インバウンド誘客などの取組を進めてきており、観光入込客数は増加基調。西部4町の積極的な合宿誘致や受入のワンストップ化の推進によりスポーツ合宿件数は順調に推移しているほか、民間と協働した移住・定住促進の取組などにより、ちょっと暮らしの利用者数も順調に推移。 |
| 檜山 | 日本海漁業の振興に向けた養殖の普及や高付加価値化、複合経営化支援などの取組を進めてきており、新たに養殖に取り組む漁業者数は増加、目標を達成。新幹線開業に合わせた大田区との交流・連携、管内町と連携したバリアフリーレジャーの推進などにより、観光入込客数に一定の成果が表れている。 |

| 地域 | 推 進 状 況 |
|-----|--|
| 上川 | 天塩川や大雪山など地域資源の魅力発信や誘客促進、松浦武四郎を軸とした地域PR、旭川空港の利活用促進など地域が連携した取組を進めてきており、観光入込客数は増加傾向。農業の省力・高収益化、森林資源の持続的利用や林業技術者の技能向上などの取組により、作付面積の維持や木材・木製品出荷額は目標を達成。 |
| 留萌 | 水稻栽培の省力・低コスト化、硬質小麦の産地化、食用花の生産・販路拡大、関係機関が連携した担い手確保、市町村等と連携した移住情報の発信やPRイベント、医療従事者向けの地域PRや移住体験などの取組を進めてきており、新規就農者数は目標達成を見込み、ちょっと暮らしの利用者数は目標を達成。 |
| 宗谷 | 管内の高校生や大学生への漁業の魅力発信や就業支援フェア、栽培漁業の推進などの取組を進めてきており、新規漁業就業者は社会的要因等による年度間較差が大きいものの、平均は目標を上回って推移。外国人観光客の道北地域への周遊促進や東南アジア向け誘致活動などの成果が現れ、外国人宿泊客延数が増加。 |
| 林-ツ | 産学官連携による6次産業化に向けた検討、国内外でのオホーツクフェア開催による販路拡大などの取組を進めてきており、輸出に取り組む農業者は当初の目標を上回って推移。オホーツクスイーツなど食と観光のPRや合宿誘致、道東4振興局が連携した周遊促進などにより、観光入込は10年ぶりに900万人台を回復。 |
| 十勝 | 国内外のバイヤーを対象とした十勝の食・産品PR、インバウンド需要の取り込みに向けた市場調査や商品開発、富裕層向け滞在型観光の促進、SNSによる情報発信や道東4振興局や地域との連携によるプロモーションなどの取組を進めてきており、観光入込客数は目標を達成。 |
| 釧路 | 草地型酪農の推進、牛乳・乳製品の地産地消PR、海外バイヤー対象のモニターツアー、活力ある農畜産業プロジェクトなどの取組を進めてきており、1戸当たりの乳量は増加、生産量は順調に推移。道東道延伸に合わせたPRや道東4振興局連携による広域周遊の促進などにより、観光入込客数は概ね順調に推移。 |
| 根室 | 畜産クラスター関連事業を活用した飼料生産基盤整備による良質な自給飼料の安定的な確保、生産性の高い経営体育成や新規就農支援による労働力・担い手対策などの取組を進めてきており、生乳生産量は策定時の目標水準で推移。 |

3 今後の主な課題

- ・各振興局において、これまでの取組の進捗状況やKPIの進捗を踏まえながら、今後の課題について分析しており、こうした課題に基づいて、次の戦略に向けた取組を検討していく必要がある。
- ・各地域において、地域の実情を踏まえた創意ある取組がなされており、引き続き、市町村との連携をさらに密にしながら、地域の多様な主体と一体となって取組を進めていく必要がある。